

# 青梅市社会教育委員会議 10月定例会会議録

平成28年10月18日

201 会議室

出席者 委員 8名

事務局 3名

文化課 2名

## 1 開 会

【議長】10月に入り青梅市全体が文化祭など文化芸術的な行事が行われている。社会教育が関連している行事が、土曜日毎週のように行われている。15日の午前中影絵劇を見に行った。子どもたちが喜んでいて。午後は青少年吹奏楽団の演奏会に行った。青少年と言っているが、年齢差50歳とのこと。若い人は年齢の高い人と一緒にやっている。内容自体非常に楽しかった。これからも土曜日などいろいろ開催されるので、委員の方も参加していただきたい。

【課長】9月議会が開催され、後任の委員2名について承認された。

## 2 報告事項

(1) 青梅市教育委員会委員の就任および人事異動について

(報告資料1-1、2)

【事務局】事務局から報告。

(2) 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会について (報告資料2-1、2)

ア 日 時 平成28年11月5日(土) 午後1時30分開場  
午後2時開演

イ 会 場 あきる野ルピア 3階 ルピアホール

ウ テーマ ☆統一テーマ

「市民・地域とともに高めあう 学びのまち  
～みんなが まなぶ いかす つながる～」

☆ブロック研修テーマ

「人と人がふれあい、つながるまちにするために  
～見つけよう我がまちの良さ、伝えよう子どもたちに～」

エ 内 容 シンポジウム(基調講演及びパネルディスカッション)

オ 参加者 新藤議長、森田副議長、小花委員

事務局(1名) 計4名

【事務局】事務局から概要説明。

(3) 第58回全国社会教育研究大会千葉大会について

ア 日程 平成28年10月27日(木)

イ 場所 千葉県文化会館(千葉県千葉市)

ウ 参加者 新藤議長、横手委員、園田委員  
事務局(2名) 計5名

【事務局】事務局から概要説明。

(4) 第五次青梅市生涯学習推進計画の進捗状況報告書(平成27年度分事業)について (別冊資料)

【事務局】事務局から概要説明。

(5) 青梅市の社会教育(平成27年度版)について (別冊資料)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】参考になるので、よくお目通しいただきたい。

(6) 社会教育委員会議9月定例会議事録について (報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。

### 3 協議事項

(1) 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰候補者の推薦について (協議資料1-1、2)

イ 推薦者

【事務局】事務局から概要説明。

～新藤議長、金子委員を推薦決定～

(2) 平成28年度青梅市芸術文化奨励賞表彰候補者の選定について (別途協議資料)

【文化課】資料にもとづき説明。

※各候補者について協議

個人の部 適 6名

否 1名

団体の部 適 4団体

否 なし

【文化課】本日協議いただいた結果は11月の教育委員会で協議する。決定した表彰候補者は市長に報告し、最終的に市長の決定で平成28年度の受賞者が決定する。表彰式は12月17日に青梅市民会館において発表会とともに開催する。発表会は3年に1度開催していたが、教育委員から発表の場は受賞者の励みになることから、間隔を短くして頻繁に行うべきではという意見があり、前回の発表会、展覧会から2年しかたっていないが、実施することとなった。

また、報告だが、長年にわたり芸術、文化の分野で活動をしてきた方が青梅

には多くいる。そういう方に区切りのところで表彰することが必要なのではないかという話がでており、検討を始めている。

(3) 青少年健全育成団体にかかる公の施設使用料の無料化について

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】国の子育て支援策から出た話なのか、予算の裏付けはあるのか。

【事務局】全額市費である。

【委員】無料になったら体育施設はどうにもならない。現状でなかなか予約が取れない。たとえば新体操が無料になれば頻繁に使うかもしれない。

【委員】青少年健全育成団体が増えるのではないか、施設予約が取れなくなるのではないか。

【委員】学校開放にも適用されると考えられるが、学校開放運営委員会で話題に出たのだが、子供の団体が練習した後に、ついてきた大人が練習をするという事例もあった。学校開放は外部の目が無いので、どのように使っているかわからない。

【委員】子育て世代の増加、定住者の増加につなげたい。そういうところに使われることは良い事だと思うが、平成22年に無料から50%減免措置になって負担が増えた。その際に青少年の健全育成に関わる団体が減ったという事例はあったのか。体育館を使っている団体は分からないが、野球チームは確実に減っている。子供が減っているし、子供が入らなくなっている。子供の減少により子供の団体が減っているという現象は起きている。バレーボールでも見受けられる。チーム自体が集まらなくなり維持できなくなっている。合併を繰り返している状態。

【委員】子育て世代を応援するという事ではありがたいことだと思うが、平成22年に受益者負担という事で有料化をして、やっと定着してきたのではないか。青少年の活動を応援するという事で半額にしているのだから、もうしばらく現状どおりで行ってもよいのではないか。会場を使うにはお金がかかる、それを皆で少しずつ負担をするという事を、我々は子育てサークルを主催している立場で、なんでも無料という事ではなく少しでも負担するという事を啓蒙することが大切なのではないかと考えている。

【委員】青梅市で行っている子育てサークルの中には最初の6か月は無料、その後の自主サークルでの活動は少しずつお金をもらう方法を取っているサークルもある。運営してみると、お金を取るならやめますという方もいるが、継続してやりたいという方がほとんど。導入で補助は出すにしてもその後の見極め、継続していくか経過を見ていく事も一つの方法なのではないか。

【議長】受益者負担の原則は定着してきている。市民もようやく理解してきたところで、一部崩れていく。それが、様々な面で混乱を招いていくようでは、逆に不信を招くことになりかねない。また、処理を行う現場からも疑問の声が出てくるのでは。

7月からという事なので、実施に向けて進めていると思うが、理解を求めて

いくのは大変ではないか。他の委員会等でも意見を聞いているのか。

【事務局】社会教育課で意見を聞いているのは、この社会教育委員と青少年委員。意見は有料化検討委員会へあげる。

【議長】他市町村の状況も調べているのか。

【事務局】有料化検討委員会で調査している。各市町村で考え方が違う。

#### 4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 平成28年11月15日（火）